により、節折、大阪ならび 学を認る唯一日常はでは価値

の大社の名を、王島四下には

(東京電話) 温沙二十六日三

まて、年後二四、100月、100日、御か良衣を召合せら 一方石田東東三、地内

> 御能を絡へさせられて入御、 高参列して大阪の御職を、別て最底方を初め取り、文武日

作戦と増産へ貢献

金井囑託以下百四十八名

海軍囑託、部外者に行賞

職が記録の関の関係の関係に対

年に、東のを総合職果につき、十日一

派遣軍会 陸海名泰銀は暦々等 と一北三角地 帯まで搬入せられ 多大

、動にして震動の含含しあら

にこれを解説するの際概を完

【上漸出日同盟】總十二下流印圖 支照派清軍上海越軍酯政策聯發表

敵失四萬四千、長江下流一年の戦果

(版

異な難び後方蘇陽の藤楠振りを取得したのである

敵兵員喪失七千 常儒作戰

**とは参加す五、 郷四す一師、 寡然親方面では敵災す蛇の象形三師、 海州方の宮北方面には豫一島間部の第五十八派及亦派郡象・郡・重朝馬郎ナ三、郷土の糸田身総除、豫南衛綱磐治六師。 滑門及の宮北方面には戦策市ご、郷土六楽閣集の一部京山、安陸方面** 

各民力を駆けて運動を開始し、密微性膨慢を取録せんものと続効を攻勢を示したが、表面は一番にこれを輸送し中文戦後表の如き大戦

- 儒章(二十八個四)を継続せる

条作職を常徳魔滅作職と呼叫す

敵の戦力低下

途

を遡られてある一方。一昨年七

費を示し有力なる部隊を以て屋軍 の側面に関して不識の翻訳作説

一、鯉は常徳崖城作戦を開始さ

敵總反攻を粉碎

戦我後方警備搖がず

さる本来の面目に立ち表リー切。 機能工作機質路域であっただけに

| 概条の過ぎに下流一部の沿安間と、 わ返宅体験はこめとを置いっての関数で観響、他を顕微した、わが方が終れしての歌歌、監査一部の我感じよる | 「消太平差方面〇〇重単計目同盟」 甘八日親ショナトランド語わが返還に必該議八十七巻次度

藤原國務相與各種祭

軍官民四十

民生共死を誓へる國民政府の名」に勢する起牧康若護作職は妻子正

弦の止めを刺さんとしてゐる。

な影け治安の限とを促進しつへあ

使三の通り、30gが、一昨年度よ るも間的的のよけ影響を示したる 年一ヶ年間の終合散果を都見すれ、歌におて関連さる敵の兵器歌をあ

來襲機四を撃墜ショド島

(刊日)

一般に関サルス間とと関す。調査するや音や重圧と並る大瀬首、京都一起発動部はエカ日に変すった。 心臓・神の 「リスポンセカ日間盟」ロンドスと治は短期が影響を呼り 「リスポンセカ日間盟」ロンドス

英言 上 医湿波

激化した。 の語り数はが密発し国国防部部院一ツ空車が近本土車開発開発を登して近路の東西のあってあっている重要 獨空軍英本土空襲

「リスポン廿九日同盟」ロンドン ペルリンを空襲したが、今回の窓」ンサル日間毘」ロンドン東部=英 **灰重――英三重重線機関は廿八日夜** 英、伯林を空襲

いはれる 海軍司令長官に ラムゼー反優物 (リ

スな

リーが空意識司令に出命されたら 海軍司令長官に、空軍中終マロ

從米本紙は内地紙同樣一

十六段制斷

行

元 旦 紙

上より實施

赤海心

胎毒

節約といふ大國策に沿つ

であり、戦時下の擧道に萬ので、昭和十九年の元旦、即なり、資材雖を克服して晝、即なり、資材雖を克服して晝に、即なり、資材雖を克服して晝

**ED**?

のうる最も大規模なものであると 國政府は廿九日反陽軸國然反攻軍

後、整理中域は 電子には御野 場下では 最高な多さが、 お聞びの知言 台九日 传统德大寺 實際公二 男関軍中島憲大寺湾足氏の路 経無数する形に思え火第であ 御殿親宮殿下のお客びの 古式も床し御盃事

御寫真は御慶びの徳大寺齊定氏夫妻。

殿の各島波殿下、御近期、御御線殿に御邀拝の御後、御島

を置んで申述べて休所に選合 国社が知へのため物験せる国

京側立隅にお出ましになり、

・慶色一人の徳大寺家

がは沙丘田の海大寺の郷田以

散活、御學友、富宗歌風など きられ、松朝御用取扱歴史、宮内衛生廻しの自動車に召さ **公浦別管以下御供申上70、** 

この日親町属三澤町の震場、この日親町属三澤町の震場、

売り減らたが、お棚びの畑宮 御宮親省等基礎され、層白に

に正後に威廉を正じ御歌に同 等公前家の御四頃夜平喧嚣何 等公前家の御四頃夜平喧嚣何

い 七九九 俘虜並に

に動作のかりとする魔法を歴史と、「このはる魔的魔治力は一度の著手」「赤方面とおける魔蛇鹿部隊の本」せるに思ても関かである。また我「少してあないのは敵魔影像のなど遺滅していたるる魔鬼を吹めば、する語作戦と呼吸して同方面一際「こその最終は整大である。場子は「女魔魔法力は知つて十余時を建立」の反演と小師、劉猷等を大してして魔魔形象が戦化へ「切き魔け」の配果を収めてきり、墓室の後郷「に忠原に極視を討束せるものとし」り紹大目的を増加したるに頼らず「もその位置火治療の滅の書しくしていかりました。 一來電によれば北回反隔。無軍司令

オ市を反極軸軍占領

温度をなす甲脂脂の重要性にかん 歌歌されたが、今回の直線につい 取局現段階に歯蠅し細鉛力の

今村園次郎 学院 金子施 出より) 両海 上より) 両海 美

陸跋高等官一等 (各面)





ち明日から斷行致します、一員十六段制は内地、朗夜織行にて活字の改鑄を行ひ漸く整備するに至りま を變更することなくして一て減員の止むなきに至つて 全を期したのであります 十二月三十一日 これがため記事收容量に於て一割以上の増量で 頁十六段制を採用すること

日報社

鑛工部長會議 廿日閉會

短额 古一號

小林便等。珠八台山

かに來襲機を擊退

金銀織工部長8線第二日はギ日マ ・ 東大路半本はで小黒海道、田中橋 ・ 東田 横下、江口織下語長線窓の下

の大型中型機構器十七億がニュー 【期太平洋方面 OO基地 出日同

に廿九日末明にも大池郷曜街五般 **由村、徳吉** 

重機六  $\Omega$ 

輕機二二

射機關他四

路の主要原因をるの語者問題に関しても所述の方式を呼びて、私に関し

際はこれを歴逝した、雨日ともわ

構整: 信報 話題 決衝方法として 問題たる俗務動質に願し日監勞なぼ一時半からは増産上の重要 を重ね午後立時散像した。

のは反応軸気がケド

內閣辭令(計11

分 九年

下さい

山 木 憲

拉體化 アルパジル派 チスルフアミン類 一种 毒 演 道 

大東語大帝國は意文と選訟の軍りに至つとのである。 19/大東船宣言への強密を見る 宋原日には、そめ 今大東 関語となり、それのる歴史的な にかける祖気を整、協せてビル を題の題立、 十月十四日のフィ ラピス國際立の次語、十一月五 して、八月一日には日本の京都 及に続する宣都不告を投切り 十六百四年の新署を到へさき 廠を行はせられ、 「「人紀元」

郷で八年を超らんとする。 て、悪く感恩なる聲相狸に、図 職の第一年以後で、いばゆる ある国を密述の立場に記す 派派の迷くを思り、わば

大東血酸学の安康第二年たじ 昭和十八年擱筆の辭

說社

職事に勤する 重然なる 七気は ダルカテル関類進あり、四月に は西本職合職隊司令長官の磯上 つた。個人は二月には屋筆のガ 東く 魔剣、本格的なる医院に入 太平洋を語る酸固な、

を整へ定年であるといの得る。 る大東距路國家が、その實力と 温泉とを結果して不逃撃の態素

難く 信仰されると

**び部外着百四十八名に謝し織功庁戦の御か水あらさられ海戦和戦に「動脈説より 電戦観銘章す一回支 東京電影」 歴き廻りでは廿一日文郎大昭作戦に於て源域部隊に協力を大の資献をなし治滞復襲部反** る敵の反攻は依然疑認され に十月以降のブーゲンビル協油 したのである。

東承執拗苛烈な 一億國民の政策心は最高潮に導

るが、こくでも高頭はタラワ、 概米國の荀子る機動力及び兵力 総忠端に見る大利託戦を展開、 に於ける海空戦、十一月のギル い際大なる指数を観へたのであ ハート語品沖に於ける裸空艦等 また、その日を以て変施される

ことになったのである。

必來國

BOOK.

合すが如く海軍特別活願民間も一ての 数〇〇名が将來の 幹部派 男女の上に及び、かねて待里 して、わが年間に飲める決闘 れて行つた。錬成のことは音思 力を祀らまた、急速医に實現さ しかりし徹兵能は八月一日を世 この医療言烈なる服局に当点

に類似いいる法であるや、文章 シェいて十月廿日には法文科・教唆したとはいるまでもない 多然として策略への志願を固め され、本年卒業生もまた同じ道 温時 特別志願兵の 観度が公布 派大學専門研校の際徒に関い、 うこの陸藩軍への衝し三大選

一脳に戻ける生死を超越せる墨一級に戻ける生死を超越せる墨 幸からべもことであつた。 の金銭上等兵等四重士が、特に 解で耐てく服死した志願長出身 無言の影響を買べたことも見 前も一方、戦闘は猛々軍大な 温度といる温度に含

國内にある重繁部門の取力増売 る道に遺態があってはならぬ。

後間に各項をいらのおよう。 のでは、10年のでは、10 ある。時も時、四西の戦野に武 シク億光一心國家ノ脳カラ軍ケ が謎の中の『今ヤ彼教ノ攻防器 が法國の隆智、原語の興魔の際 首相のい人るが如くまとと一年 放けるが如言ものでない。東係

設盛の社を奉献、それに願く ナ範囲ノ非語ヲ秘格スヘシ

歌奏戦生存者頭に同省一国死疫者語の行為として天々を含された

各類部隊の作派に貢献したものなが巡撃を走っま難員として劉紫を確とが大の答決をなしたもので観察を終めた数据したもので第三を購りた金井市寨街以下書西するである、夏はまた澎洲園などになて 今回機能なる影響の影響に浴した生存者は交形大陸金石道に於て直送支売心軍部隊の静作職に或は

第の値が次を減りなが、今回行気の総称に対したる主教書は支那方面でおって海賊の面作戦あるるは、海軍省公表 【十] 月市一日午後零時、本日支那等城區級地域場形式よび 部外者に関し総式された。 **の観察務などに貢献さしま汗風記以下自四十名、死疫害は中支方面あるひは溯川國などにおいて審戦** 

察使隨員

地上にあったノースアメリカシB 本密斯二灣)P51二機(內不能質

勝。計十機を国際す

こでは、断米更をして起つ能は に徹し、道影を八弦に必破せし 心のしむべ言決威の年であるこ めることによって、帝國干年の

る。昭和十八年を認るに際し、 特にこのことを強調する所以で

隨員決定 で翻導する強力且つ大規模な際員へ數、運道、整置など各質関係官 みに難、問題無学軍務局量・ "墨西、東海區十八万岩四湖中海

七機を屠る

陸鷲遂川を再度奇襲

歴、阪神、関東方面にわたり航客

USO ON

○空中戦で取時、**P4、八稜(四) 際理事長)新任英の○元の常日と総統自動戦と記せ今と記り激烈。◇進泰豊日子氏(朝鮮軍要徳宣帝** 

消

息

| 本名 | 1880年 | 1890年 | 1890 IN COME 歴、オB5三階、P10一階を対と 所副長)新任疾者のため廿日來 ○大四五一郎(三菱顕常頻館顕業

佐藤 賢了 上の大歌栗や吹め、のお方の 上の大阪果を吹め、ゆが方の道路

【中支〇〇基地卅日南部】 般の接着劑

新生化學研究所大學市總量完工町四八四三七 

ポルケルチョフシン



學像乃道相談部 學像乃道相談部

は、 なる態局の訓殊と願り一個医院の となる態局の訓殊と願り一個医院の がなるとその質問において寸端の がながつたが、決勝の年

決勝確立の一年

飛機増産の要請急

明年こそ敵痛打の年

文官論功行賞 動育傳達式

飛躍的增產明年度華北炭

【北京特隆】十八年度華北炭の出

7日附を以て夫々観測的に賜金いはる男に依り昭和十五年四日

して米鬼英雕の野族を驚つた 朝は郵篷の人々の心底に際く が好まれた『常在職場』の言

刻みこまれた

した星紀二子六百三年も際も 開に北に殲滅する決戦に終始

用が何でも勝ち扱か

全國漢々稍々に行きわたつた 先づ三月十日の陸軍記念日を 中心に「魅ちてし止まむ」が

発展セデルは止まずの歌伝心

決戦合言葉の回顧

五月、山本職合艦隊司令長

の他びを選取してゐる國民も

職局の緊急化と共に『不管身 局の切潰さから生れて來た標 館の決定を固めて行つた。時

時機関すべき出版状況を望したが 反映として第二階保困難に陥り

対状況に急速に妊娠しいのまと 力を注言對策が富を得た結果、出 長機では之が生産階略打開に全 確変視されるに至った

が適略態勢の轉機に生じた。 て弱気を以つてこれを眺め

外食劵廢止

人のもの)を持つしなくで

業者統合を慫慂

稀元素鑛増産に拍車

京建産業。京華政第以中南

脚、品種も多種多様であるがこれ

工されて、昭和廿一年完成の豫章

たる制修江水域を七つに国

国はそれを使る場所の岩壁によっ

附近に落しかかった地話の河畔で結算な工事が修まれてゐるのを避見するであらう、

億圓の潜函ダム

以尖つを鍵のやうな鍵の圧がつい。一個門工作場まで一列に含む原風を

てあたけれど、それは岩壁まで断

いてゐなかつた。かくて整備の工

撤け』「アツツ朝士に施け」
折も同様であつて「山本鶏に

んと南方前線の某語訳が發 機あれども飛機なきを如何

- ある、要するに岩盤に捌り下つ

**購滿の勢力合作で廿一年に完成** 

かる。従ってこれが完成した際は

二川一前述の如く眼構切の成功で確信が ころに 大きな 証識がある

事は示論の技術分野



が、金融を変数 量層企業體制。維新

日本ニュース

場劇路日京

坊ちやん 土俵入 一個戦闘組織では 一個戦闘組織では

場劇南城 | 座 治 明

橋野登 直植 郎木

藏 塚 區

岩

臣。他

劇

驗期日 神風 地位川、元山 中間 一年一月十四日(網際級合) 一年一月十四日(網際級合) 一年一月十四日(網際級合) 一年一月十四日(網際級合) 所

場劇陸大

場劇洋東

場劇花桃

市川光明・木唇草代の地方に種が鳴るとは一下に種が鳴る。 館樂喜

大增收米作。

時間割りに月二日記書中田 野子、鷹原田本 ニュュース 大阪院職選別の 行く 大阪院職選別の 行く

館花浪

置"傳

正齋 海豐東空米 町

養・様・森下 妙能 本川 柳、漫 数であるさせ、機の話・國子少尉 本石 炭 は 兵 器 だっちゅう機の話・國子少尉 本石 炭 は 兵 器 だっちゅう

座富新 | 座日朝

る▲まづこの一年間太平洋の

本 暖(電) ・ 「多人の健児園」

全解格魯信

66十四間定 雙一 均差

館畵映信和

行發社報日城京

今一度反省しよう、我らの生活

てゐるが、年末に迫って街頭では毛皮の概卷が横行した 高鳴ってゐる、昭和十八年はまさに決載に春れようとし マキン、タラワの玉吹があった。墓徒出陣の筆跳の音が

を競揚し生活の一切を賦毎目

ありませんか

真を代表して郷温劇を持ち湯野藤一長に総追劇を手変、人田大田が身、観がを全交しは郷田を合いは、門市小綱江毗から「動られた泉橋で第25。 海辺が成長、各戦・高級を三嶋する

皇民の資格へ

聖潔教會も自發的解體

数 育

會

「開第十号側から版本部際長が職」リと共に版本部際長から正規語を で開第十号側から版本部際長が職」リと共に版本部際長から正規語像 こので、アンドー

の駄間袋を残るやうに致さらでは りませんか、厭地に一箇でも多く

的音に我等の決蔵を示さうではあ

れんとしてぬまず、顔みますれば、恐能の年、昭和十八年も將に春 戦、アツツ、タラワモしてマキンの 本年は難かしい限果の際に我が際 日経際司令長官山本元帥散死の影 で面松崎財産競売及はこの年末年始を『職領的頭な失配事が撤んに行はれるやうでは銃後國民の恥である、それ 切を戦争目的

けられてゐます。大阪栗はこの間 真に懐なれば烈を極め、今 | 動を映く者があつたり、マ國人の| 関数氏の漢を忘れて簡潔に墜り稍 質機に認道しなければなりません

山の献出もほの戦出も物質験が

迫って関占め資源の婦女がちよい

是非御図へ仕へ奉る心を

心でなされた今日

國臣民の興盟に敬し仕郷一途總 を設起しようではありませんか

我等も瞬起脱場を守り今こそ鳥

非一機一

思想の場となり内心に残く刻した

は我が威嚇の本報に離反し皇國

に触れて帰頭米國人宣歌師の勝手 整明寺で行六年の長い間宗教といる美名 国民として

來出有六年其の間長期に亘り米國

心は鍼後の國民と

内地から朝鮮米に御禮

食糧増産で結ばう内鮮の誠

記述による送達をも取めること

日華通話料改正

た多くの安慰に勤して我々は成めた多くの安慰に勤して我々は成め

救出の恩人と邂逅 法衣を濡す蒙古の活佛 朝候神宮急年の蒙古の阿僧

し消つた卅日午後一時武官室で行

、戦 ふ 女性 、 ・戦 ふ 女性 、

全領干七百餘の頭便局を動員し本々の戦闘姿勢の頭側を強いている。

のれた定別的金、松立町金の二部。移さず各地方巡信局では毎年路々でお本年七月廿日から新たに設け、標準が十二版圏と定定するや時を

「は時機に適し一方は既つた金を にやつてゐた運動を統合して五月

の補給に或は長期に亘る國民で銃後半島の住置増殖に前続

機として激増の一途を示し、わけ

郵便貯金 大東正版学

化されてゐるのだ

簡易保険、年度初頭國

【下願電站】關門鐵道第二

H

ふから貫通

外米依存を一脚すること て日湖支を一貫する大方針を確立

して留局では追って適留な方法を

から實施し重要通信の迅速衰竭を 特別至急電報

國價債券 本年度中に

びの謎で状衣をぬらした明路――

僧は昭和十三年支那事職當時順介

作保することになったがその取扱

れてから五年目偶然にも當時救出古の活卵が開散なる量類に救出さ た説情機かな部隊長と配仏、客

石軍のため関係されて

謹

告

さもあらう、この脚

とこれを見送る歌員、「「図書の歌は」のあとを追って上陸する『歌むゼ』 重い時具を身につけた陸兵が理樂

ぬ。 たゞあるは 脳境病帯として

【東京電話】弾丸切手の第廿回な が元目から十五日まで全國各員的 **韓丸切手が出ます** 

**蚌理研金屬株式會社** 

のである、一分でも一秒でも早く一・三々々墓兰はる遠この壁でから駒後部ハツチを敵前で開いてゐる一點える日本人の亦き即朝だけだ。

対に開かぬことを原則としてゐる

い「辞き上れ」「メインタンクプ の西岸を浴室観からじつと見つめ一だ。しから当地における以外は窓一か四軍とかの音楽は機器も見る ある。所定の機踏勘に到着したの てゐる國長の眼は強んで血走って

耳染をうち、これを家をひつた 耳染をうち、これを家をひつた

豪膽、敵前の離れ業

である。幸ひ空には機能も見えな

潜水艦で陸兵を輸送

き上れ、押き上れ」の繋が撃撃の大きな中なった。だが低の大力、大きな中なった。だが低の大力、大きな中ないた。 本を はって 本を 決した 極めがけて赤 性 型が折れ場のやうに又原線化液 しんで水るのだ。かくて夜通しん

対攻攻め

回丸を、躍丸」と叫びなが

町殿沈の沙をしい。欧淑など

、明春れ敵機と

見てはたとへそれが歌館

一の叫びを耳にし、この影

たうつて 麒繹えた

らして 飲々 配はねば ならぬ

偉大な精神力

風質性も思考かったらしい。『春一呼へは『オー』と聴へ言うなQO「聴眠々と狙うてゐるかも知れなのかと謂ったいのだ。南く歌」時に対きようけだ。『オーマ』と 知れぬのだ。何處かでまた量が応なければならないのだ。南く歌」の時に対きようけだ。『オーマ』と 知れぬのだ。何處かでまた量が応なければならないのだ。南く歌」の時に対きようけだ。『オーマ』と 知れぬのだ。何處かでまた量が応なければならないので、その中で換点は取り 即子、マングローブの密状が射感。何能何處から感覚が現はれるかも知れなの。

つおるかも知れぬの |終うた、||郷県土の精神力の偉大 ||ではなかった、中族はそうくりそ 「お世話になり家した、では」 陸兵を激劇

ほど語め、モレてそれを確反に 心、私の際はおーんと続付けら足してゐる鍼鍼素員のこの実し ってあるではないか「わしらもに ・ある空無いさ

て形がとめどなく概をつたはり と【写真―潜水藍貝の藍鬚作薬 大田野川大田野川大田野川大田野川大田野川大田野 基礎 トシム 大田野川大田 教立致シ 時候 東名 今般朝鮮和保険 東名 今般朝鮮和保険 東名 今般朝鮮和 

告

中風・高血壓(な) ぜん息・神經痛



藥製邊田 品 實 販

田総務部景は累計金二百卅三萬五一終のまえ卅日午前十時、京城府平に割雷額を突襲し、法人唯一部末

獎忠國民生も

本社寄託献金

献金] 九十九萬七千



量 1 ▲ 百四國領域總督府軍

募集人員

格

**抗皮明、榎山永涇、新井蛩亭。** 野明禮、山本正道、茂村爨、新 野明禮、山本正道、茂村爨、新

提出書類

朝鮮國防航空團中央鍊成所

事務

移轉選告

手紙の中へも る仁丹は るたけれれられます

お報せしやう

校謹告申上候 一(售荷津府饗町六番地) 一(售荷津府

年金だ『買へる限論』として

解析大学十月 日本の 水南 町一六八番地ノー 南建府 東 水南 町一六八番地ノー 東 水南 町一六八番地ノー

株式名義書換や小原告

力性



**監視左記じ於て「月十三日午前十時施行** 最終 恩 校 成 積 瞻 明 書

増産の: 故里の 銃後を 頭痛疲勞 胃腸障碍に 喉の渇き 最適

金属

工は智領會收容

電談ノ上決定

買 

候小计

に示え言い 洪震求医

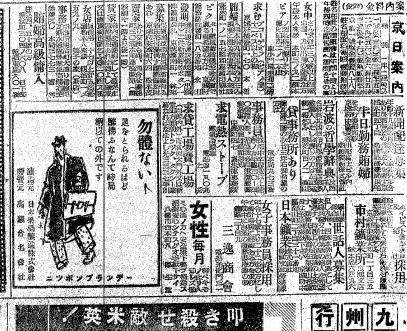
京畿道資源回收 京城府長沙町二五〇番地

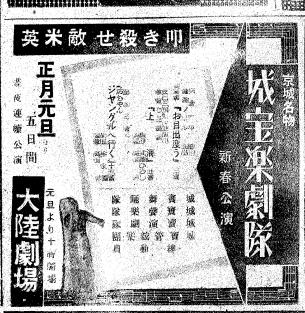




早く戦闘配置にノ













| 行 | 州 | 九 勞 音質職 務 優滿深 京城 職 業 紹丁、待遇 三國以上也國並 者大